

◆部局の役割・目標像

草津市民や草津を訪れる人々にとって、心地よさをいつも感じられ、住みよいまち、住み続けたいまちをつくるため、都市形成の基盤をなす道路、河川、公園、市営住宅の整備を進めるとともに、インフラ資産の適正な維持管理を図ります。
◆広域主要幹線道路や生活道路・歩道などの整備を進め、安全・安心に利用できる道路空間の構築を推進します。 ・各広域主要幹線道路の早期完成、早期事業化に向け国県等に対し要望していきます。
◆道路施設や公園施設の長寿命化と適正な維持管理を行います。 ・橋梁、舗装、道路附属物や公園遊具等の予防保全に努め、適切な修繕を行います。
◆河川・排水路の適切な整備と管理による治水対策を行います。 ・雨水排水路の整備を計画的に進めます。
◆ガーデンシティの推進を図り、公園や緑地の整備、活用を行うことによって、安らぎと憩いの場の充実を図ります。 ・都市公園の整備を進めるとともに、今後のロクハ公園プールの再整備にかかる方針を定めます。
・草津川跡地の未整備区間の公園整備を進めるとともに、草津川跡地公園のさらなる“にぎわい”と“うるおい”の創出に努めます。
◆草津市立プールの整備・運営を進めます。 ・「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を基本方針に掲げ、市民、県民のスポーツ振興や健康づくりに資する施設として整備・運営を進めます。
◆大規模災害に備え、土地(道路、河川等)に係る正確な財産管理を図ります。 ・市街地の地籍調査を実施します。
◆市民の住まいの安心と安定を支えます。 ・公営住宅の供給を通じて、市民の住まいへの安心を支えます。
・改良住宅の譲渡処分により、地域コミュニティの活性化を支援します。
・老朽化が進む公営住宅の計画的な建替や長寿命化対策等を通じて、超高齢社会への対応や子育て世帯が住みやすい環境づくりを進めます。

◆目標管理者

技監	高松 弘泰
部長	松尾 俊彦
専門理事	島田 稔
理事	荻下 則浩

◆職員数および当初予算規模

所 属	職 員 数 (人)				当 初 予 算 規 模 (千 円)		
	正 規	再 任 用	会 計 年 度	合 計	歳 出 (職員費を除く)	特 定 財 源	一 般 財 源
経営層(部長、副部長)	6	0	0	6	-	-	-
道路課	15	0	5	20	1,316,874	726,540	590,334
河川課	8	0	2	10	452,261	317,928	134,333
公園緑地課	10	0	3	13	600,165	139,051	461,114
草津川跡地整備課	8	0	2	10	372,834	245,430	127,404
プール整備事業推進室	2	0	0	2	3,841,311	3,664,990	176,321
土木管理課	6	0	6	12	84,398	35,222	49,176
市営住宅課	10	0	3	13	619,389	442,056	177,333
				0			0
				0			0
				0			0
				0			0
合 計	65	0	21	86	7,287,232	5,571,217	1,716,015

1. 現状認識 （重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など）		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R6 主な事業		
1	・主要幹線道路では慢性的な交通渋滞が生じており、生活道路への交通流入量が増加傾向であることから、渋滞緩和や交通アクセスの確保を図るため、主要幹線道路の整備が求められています。 ・社会インフラは「市民の安全・安心の確保」「持続可能な地域社会の形成」「経済成長の実現」という役割を担っており、また自然災害が近年に激甚化・頻発化している側面からも、老朽化が加速する社会インフラがその機能を将来にわたって適切に発揮できるよう「持続可能なインフラメンテナンス」の必要性が高まっています。	➡	①	・主要幹線道路として整備を進めている大江霊仙寺線南笠工区の整備を計画的に進めます。 ・草津駅周辺、特に野村運動公園付近における交通混雑の解消のため、大路野村線の早期整備を目指します。 ・草津川跡地（区間6）道路の整備に伴い交通量の増加が見込まれることから、東草津北2号線の拡幅整備を進めます。 ・維持管理や更新等にかかるコストの縮減、予算の平準化を図るため、定期点検結果を踏まえた優先順位に基づき、撤去・集約も視野に計画的に修繕・更新等の対策を進めます。	➡	①	【取組】 ・大江霊仙寺線南笠工区その2区間の整備に向けた取組を進めます。 （事業費 43,030千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む） ・大路野村線の整備を行います。 （事業費 301,469千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む） ・東草津北2号線の工事着手に向け、用地取得を行います。 （事業費 273,583千円） 【成果目標】 ・南笠工区その2区間の整備に向け実施設計業務等を進めます。 ・大路野村線の拡幅整備に向けて引き続き用地取得を進めるとともに、一部区間の工事を進めます。 ・東草津北2号線の工事着手に向け、用地取得を進めます。	分野：道路 基本方針：安全・安心な道路の整備 施策： ・幹線道路の整備 ・生活道路の整備	④暮らしの安全・安心向上プロジェクト
	2		・平成25年度の台風18号をはじめ、近年集中豪雨が多発しているなか、市内の既設河川や排水路については、河道の土砂堆積などによる通水阻害の解消が求められています。 ・雨水幹線については、重点整備による効率的な整備が必要です。	②		【取組】 市道長寿命化対策を行います。 （事業費 316,467千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む） 【成果目標】 早期に措置を講ずべき橋梁のうち修繕が完了した橋梁の割合 進捗率 93.3%（令和5年度末 79.3%）	②	【取組】 緊急浚渫推進事業債を活用し、通水障害となる堆積土の浚渫および樹木等の撤去を行います。 （事業費 37,400千円） 【成果目標】 市内3河川、2調整池にて浚渫・伐採事業を実施します。	分野：防災 基本方針：治水対策の推進 施策：河川・排水路の整備
			③	【取組】 雨水幹線の整備を行います。 （事業費 384,700千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む） 【成果目標】 事業計画整備面積に対する整備達成率 68.6%（令和5年度末 68.2%）	④	【取組】 緊急浚渫推進事業債を活用し、通水障害となる堆積土の浚渫および樹木等の撤去を行います。 （事業費 37,400千円） 【成果目標】 市内3河川、2調整池にて浚渫・伐採事業を実施します。	分野：防災 基本方針：治水対策の推進 施策：公共下水道雨水幹線の整備		

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R6 主な事業
3	・市民等のニーズを踏まえた公園・緑地の整備が必要です。 ・開園から35年以上が経過しているロクハ公園プールについて、市民ニーズ等を踏まえ、最適な整備運営の検討を行います。 ・第3次草津市みどりの基本計画に基づき、「ガーデンシティくさつ」を推進する必要があります。	③	・野路公園の整備を進めます。 ・ロクハ公園プール基本計画を策定します。 ・市内公共空間におけるガーデニング活動の促進を図ります。	⑤	【取組】 野路公園の用地取得を進めます。 【成果目標】 野路公園用地取得率 90%(令和5年度末 28%)	分野:公園・緑地 基本方針:ガーデンシティの推進 施策:公園・緑地の整備	
	⑥		【取組】 民間活力導入にかかる調査を踏まえ、検討委員会での議論を経て、今後のロクハ公園プールの方針等に係る基本計画を策定します。 (事業費 18,041千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) 【成果目標】 ロクハ公園プール基本計画を策定します。	分野:公園・緑地 基本方針:ガーデンシティの推進 施策:公園・緑地の活用	③にぎわい・再生プロジェクト		
	⑦		【取組】 市内におけるガーデニング活動団体の支援を行います。 (事業費 707千円) 【成果目標】 ガーデニング活動参加者延べ人数 544人(令和5年度 572人)	分野:公園・緑地 基本方針:ガーデンシティの推進 施策:まちなみ緑化の推進			
4	・草津川跡地の未整備区間の公園整備を進めていく必要があります。 ・草津川跡地公園の良好な環境や空間を維持するとともに、新しい生活様式に対応した魅力的な公園運営を行う必要があります。	④	・区間4について、滋賀県をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。 ・区間6について、滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。 ・区間2、5(ai彩ひろば、de愛ひろば)について、民間ノウハウを生かした指定管理者による管理を行うとともに、草津まちづくり株式会社や園内の店舗事業者、市民活動など、多様な主体が関わる公園運営を行い、にぎわいを創出します。	⑧	【取組】 ・区間4JR琵琶湖線草津川トンネルの交差部の道路拡幅整備完了後に、道路付帯施設(広場)の管理を行います。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 3,201千円) ・区間6の整備を滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 219,312千円) ・草津川跡地公園について指定管理者による管理を行います。 (事業費 104,500千円) 【成果目標】 「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合 42.1%(令和5年度実績 36.5%)	分野:公園・緑地 基本方針:草津川跡地の空間整備 施策:草津川跡地の整備	③にぎわい・再生プロジェクト

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R6 主な事業
5	平成30年11月に策定した『(仮称)草津市立プール整備基本計画』の基本方針である「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るため、令和7年に開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として、また、大会後の利活用を見据えて、草津市立プールの整備・運営を進めます。	⑤	令和6年8月の供用開始に向け、事業者や滋賀県をはじめとする関係機関等と連携しながら、計画的な事業進捗を図ります。	⑨【取組】 ・引き続き、PFI方式により草津市立プールの整備を進めるとともに、運営面についても、事業者や関係団体等とともに、施設の供用開始に向けた準備を進めます。 ・引き続き、周辺道路の改修工事を進めます。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 4,087,711千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) 【成果目標】 PFI方式により建築工事を進め、令和6年8月に草津市立プールの供用開始を行います。また、周辺道路の改修工事を進めます。	分野:生涯学習・スポーツ 基本方針:スポーツの充実 施策:スポーツ環境の充実	③にぎわい・再生プロジェクト
6	・改良住宅は、入居者の代替住宅として建設したものであり、地域での安定した暮らしに向けて、国の承認を得て、有償譲渡を進める必要があります。 ・平成29年度に外部有識者による改良住宅譲渡審議会を設置し、有償譲渡に向けた課題整理を行いました。 ・令和元年度から譲渡処分を開始しました。今後も継続して譲渡処分を進める必要があります。	⑥	有償譲渡を希望される入居者に対し、順次譲渡処分を進めます。	⑩【取組】 譲渡の申込希望があった40名(44戸)のうち20名(22戸)の譲渡を完了を目指すとともに、残りの20名(22戸)の譲渡に向けた手続きを進めます。 ※同和対策本部会議関連事項 (事業費 140,612千円) 【成果目標】 譲渡戸数 20名(22戸)(令和5年度実績 3名(3戸))	分野:都市形成 基本方針:都市と住環境の質・魅力向上 施策:良質な住宅資産の形成	
7	・高齢化の進展により、公営住宅のニーズが高まっています。 ・本市の公営住宅の多くは、昭和50年代に建設しており、老朽化が進むとともに、バリアフリーの問題など、超高齢社会への対応や子育て世帯が住みやすい環境づくりが必要です。 ・平成29年度に改訂した「草津市市営住宅長寿命化計画」において、老朽化した公営住宅の建替や長寿命化対策等を位置付けています。	⑦	・常盤団地の長寿命化対策を推進します。 ・木川、西一・下中ノ町団地の建替事業に着手し、必要な調査や方針の策定等を行います。	⑪【取組】 常盤団地C棟工事を完成させ、外構工事に着手します。 (事業費 310,601千円) 【成果目標】 常盤団地の長寿命化された住戸数 24戸(C棟) ⑫【取組】 PFI導入可能性調査やアスベスト調査を実施するとともに、建替事業に必要な実施方針の策定・改訂と地籍測量・境界確定を行います。 (事業費 46,311千円) 【成果目標】 令和7年度に仕様書が作成できるよう、必要な調査や方針の策定等を行います。	分野:地域福祉 基本方針:福祉の総合的な相談・支援の充実 施策:セーフティネットの充実 分野:地域福祉 基本方針:福祉の総合的な相談・支援の充実 施策:セーフティネットの充実	②地域の支え合い推進プロジェクト ②地域の支え合い推進プロジェクト